

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 5月号

令和3年4月30日（金）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

努力は必ず報われる

新年度がスタートして1ヶ月程がたちますが、子どもたちは、新しい担任や友だちと、日々の学習に生き生きと取り組んでいます。1年生も、先週から給食が始まり、小学校生活に大分慣れてきているようで、一安心です。これからそれぞれのクラスがお互いのよさを認め合い、一人ではできないことは支え合いながら、誰もが居心地のよいクラスにしてほしいと願っています。

さて、今年の夏には、新型コロナウイルスの影響で1年間延期となった東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。多くの競技で代表選手が決まっていますが、その中で、日本の誰もが驚いたのが、競泳の池江璃花子選手ではないでしょうか。メダルの獲得が有力視されていた池江選手が、2019年の2月に白血病を公表し、長い闘病生活に入りました。それからの2年間の歩みは、私たちには決して分からない苦難の連続だったと思います。何度も夢を諦めかけたことと思います。しかし、いろいろな方々に支えられ、池江選手は、1年後の2020年3月にプールに戻ってきました。練習再開時点では、スタート台から満足に飛び込むこともできず、チームメートの誰にも勝てなかったそうです。目標を2024年のパリ五輪に定め、地道な努力の積み重ねによって驚異的な回復を遂げ、今月行われた東京五輪代表選考会を兼ねた日本選手権で、バタフライと自由形で4冠を達成し、400メートルメドレーリレーと400メートルリレーの2種目で、代表入りが決定しました。1種目目の100メートルバタフライで優勝したときのインタビューで、池江選手は、「まさか優勝できるとは思っていなかった…すごくつらくてしんどくても、努力は必ず報われるんだなって思いました」と涙ながらに語られました。

本校の目指す子ども像の一つに、「進んでいき、最後までがんばる子ども」があります。一人一人の子どもの成長の可能性を信じ続け、日々の教育活動を充実させていくことが、私たち教職員に課せられた大切な使命であると考えております。